学校番号	１２０１

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編情報Ⅰ（東京書籍）						
副教材等	日本語ワープロ検定試験模擬問題集３・４級編（日本情報処理検定協会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っているスマートフォンやコンピュータに対して、理解を深めましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、適切な方法があることを学び、自分の考えを持ちましょう。
・プログラミングを学習し、自分の考えをコンピュータ上に構築するだけでなく、問題が発生した場合は、原因を追究し解決する力を身につけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
コンピュータなどの活用を通して，情報を適切に処理するための基礎的・基本的な知識と技能を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
ネットワークを利用する際の、情報モラルに関する意識を育てる。
コンピュータで情報が処理される仕組みに着目し，プログラミングやシミュレーションによって問題を発見・解決する能力を育てる。
【学びに向かう力、人間性等】
情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・情報と情報技術を適切に活用するための知識を身に付けている。 ・情報社会の進展と社会の中での情報の果たす役割、影響および情報に関する法制度やマナーについて理解している。 ・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じ、情報および情報技術を適切に扱っている。	・問題の発見、解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用することができる。 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだすことができる。	・情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めることができる。 ・情報に関する問題を発見し解決することができる。 ・問題解決の過程を振り返り考察を深めたり、評価・改善したりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	情報で問題を解決する	・情報とメディアの特性	a:情報の特性から、情報とは何かを理解できる。 b:メディアの特性の理解やメリット、デメリットが判断できる。	提出プリント 定期考査	振返シート 提出プリント 定期考査 実習課題	
		・情報モラル ・個人情報	a:個人情報の理解、流出特性される仕組みを理解できる b:情報モラルに配慮して情報を発信できる。また、パスワードの適切な管理、理解 c:ネット依存等、自らの情報活用を振り返り改善しようとする。	提出プリント 定期考査	振返シート 提出プリント 定期考査 実習課題	振返シート 提出プリント
		・著作権	a:著作権について理解 b:引用や利用できる著作物について理解する。 c:著作権が存在しなかった場合の文化の発展について考え検討する。	提出プリント 定期考査	振返シート 提出プリント 定期考査 実習課題	振返シート 提出プリント
		・情報技術の発展 ・よりよい情報社会へ	a:情報技術による社会・生活の変化が理解できる。 b:電子マネーと現金のメリットとデメリット c:情報機器を使用することで発生する問題点と利点について考え改善する。	提出プリント 定期考査	振返シート 提出プリント 定期考査 実習課題	振返シート 提出プリント
	情報を伝える	・コミュニケーションの手段の変化（インターネット含む)	a:メディアの特性とコミュニケーション手段の特性を理解できる。 b:匿名性のメリット、デメリット c:インターネットを通じてのコミュニケーションについて考え改善する。	提出プリント 定期考査	振返シート 提出プリント 定期考査 実習課題	振返シート 提出プリント

		・デジタル表現 （数値、音、色など） ・デジタル化	a:２進法、１０進法、１６進法の仕組みが理解できコード化できる。 b:デジタル情報とアナログデータを区別できる。 c:デジタル化で起きる情報の欠如について考えまとめる。	提出プリント 定期考査	振返シート 提出プリント 定期考査 実習課題	振返シート 提出プリント
		・情報デザイン ・ユニバーサルデザイン	a:抽象化、可視化、構造化の方法を理解できる。 b: 抽象化、可視化、構造化の方法を表現できる。	提出プリント 定期考査	振返シート 提出プリント 定期考査 実習課題	
２学期	コンピュータを活用する	・コンピュータとは何か ・ソフトウェアの仕組み	a:コンピュータの基本構造を理解でき、基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの役割を理解できる。	提出プリント 定期考査		
		・アルゴリズムの表現 ・プログラミングの基本構造	a:プログラミング言語の種類や、アルゴリズムの理解、またフローチャートでアルゴリズムを表現することができる。 b:分岐構造と反復構造を含んだプログラムを作成できる。 c:粘り強くプログラムを効率よく作成し改善する。	提出プリント 定期考査	振返シート 提出プリント 定期考査 実習課題	振返シート 提出プリント
		・モデル化とシミュレーション	a:モデル化を理解し、シミュレーションにおける注意点を理解できる。 b:モデル化の方法や、モデルの適正範囲を判断できる。 c:オリジナルのシミュレーションを考え、自ら改善点を見つける。	提出プリント 定期考査	振返シート 提出プリント 定期考査 実習課題	振返シート 提出プリント
	データを活用する	・ネットワークとインターネット ・インターネットの仕組み ・サーバとクライアント	a:インターネットとはどういうものか､プロトコルの仕組み、ルータとハブ、ＩＰアドレスの理解	提出プリント 定期考査		
		・インターネット上のサービス ・情報セキュリティ	a:Ｗｅｂページを閲覧する仕組み、電子メールの送受信の仕組みを理解できる。 b:ネットワークのトラブルが起こった際に対応を判断できる。	提出プリント 定期考査	振返シート 提出プリント 定期考査 実習課題	

3学期	データを活用する	・データの形式 ・データの活用 ・様々なデータモデル ・データ分析の流れ ・目的に合わせたデータの利用	a:質的データと量的データの違いを理解し、データベースの利点、問題解決におけるデータ分析を理解できる。 b:データの尺度や関係データモデルの利点を考えることができ、クロス集計の結果を分析できる c:データ分析の結果と解釈を振り返りながら、データ分析の改善を使用としている。	提出プリント 定期考査	振返シート 提出プリント 定期考査 実習課題	振返シート 提出プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度